

第1回 現職教育委員会

校長、教頭、教務、現職教育、探究学習推進

進行：木村 記録：加藤

- ① そもそも「探究学習」とはどのような学習か



☆ 文部科学省「令、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」（令和3年3月）より

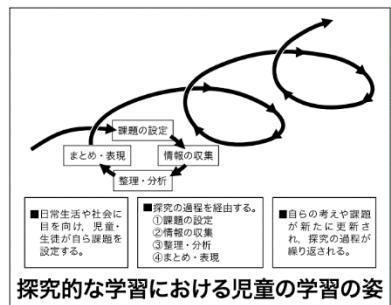
「探究的な見方・考え方」とは、各教科における見方・考え方を総合的に活用するとともに、広範な事象を多様な核だから俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探求し、自分の生き方を問い合わせ続けることであると言える。

具体的な学習指導のポイント

一つは、「学習過程を探究的にすること」（中略）もう一つは、「他社と協働して主体的に取り組む学習活動にすること」

探究的な学習とするためには、学習過程が以下のようになることが重要である。

- ①【課題の設定】体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ
- ②【情報の収集】必要な情報を取り出したり収集したりする
- ③【整理・分析】収集した情報を、整理したり分析したりして思考する
- ④【まとめ・表現】気付きや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する。



このような学習過程は何度も繰り返され、高まっていく。

総合的な学習の時間においては、目標にも明示されているように、特に、異なる多様な他者と協働して付帯的に課題を解決しようとする学習活動を重視する必要がある。それは、多様な考え方をもつ他者と適切に関わり合ったり、社会に積極的に参画したり貢献したりする資質・能力の育成につながるからである。また、協働的に学ぶことにより、探究的な学習として、児童の学習の質を高めることにつながるからである。

協働的に学ぶことの意義

「多様な情報の収集に触れること」「異なる視点から検討できること」「相手意識を生み出したり、学習活動のパートナーとしての仲間意識を生み出したりすること」

② 研究主題の設定

「令和7年度 福島県小教研 研究主題」

人々・社会・自然に進んで関わり、自らの考えを生かして学び合い、深い学びを実現できる子供の育成

「令和7年度 鹿島小学校 研究主題」

生活・総合において、探究的な学習で自分たちの地域の魅力や特性に気づき、児童が自ら考え、自らの言葉や方法で表現することを通して、主体的・対話的に学習に取り組む深い学びから、将来にわたって、たくましく生きる力を養う。

③ 探究学習を通して育みたい資質・能力（案）

I・・・課題解決能力の育成（思考力・判断力・表現力を中心に）

II・・・コミュニケーション能力の育成

III・・・主体的に学習に取り組む態度の涵養

（3） 研究計画の立案にあたって

① 直近の縦割り探究学習は以下の通り

	日 付	校 時	授 業 の 内 容
1	4月24日(木)	5	校長先生によるデモンストレーション
2	5月 8日(木)	5	縦割りグループの作成①：調べたいテーマを考える（教室）
3	5月15日(木)	5・6	縦割りグループの作成②：プロジェクトごとに集まる、自己紹介
4	6月 5日(木)	5	プロジェクト名の決定、探究学習の進め方の確認
5	6月19日(木)	5・6	小プロジェクトの決定、調査開始

② 学習発表会では1サイクル目の成果と課題、2サイクル目への展望を発表する

→ グループの構成員全員が発表できるように各グループで計画する

③ 一人一授業を行わず、教員同士の「共有会」を開催する（月に1回程度？）

（4） 実際の授業をイメージして

① グループの組織

- 22グループ作る

→ 学級担任+専科で22人。教員1人に1グループ。そこに学習支援員が加わる。

→ 1グループ11～12人（3年70人、4年58人、5年57人、6年73人、計258人）

→ 木村がいったん作成し、運営委員会で検討する。

② 縦割りによる探究学習に、どのように入るか

☆ 別紙『総合「かしま未来プロジェクト」～チャレンジタイム～』より

- 「思い・願い」を引き出すには
 - 1時間目：校長先生から「思い・願い（大テーマ）」を語ってもらう
例：鹿島のことをもっと知ろうよ！学ぼうよ！
 - 大テーマに向かって、子供たちの「思い・願い」を広げ、課題につなげていく。
例：真野小学校のこと、真野漁港、鹿島小の歴史、万葉太鼓のこと etc..
- 似た思い・願いをもつ子同士でグループを作り、課題（プロジェクト）を設定する
 - グループの中でプロジェクトを細分化し、一人一人が小プロジェクトを決める

③ 各授業においては

- 学習カードを活用し、「見通し・ふり返り」を重要視する。
 - メタ認知能力の育成（今の自分の位置を俯瞰する）
 - 評価に活用する。
- 教師の適切な介入が肝になる
 - 特に最初のうちは、教師の手助け無しに進めることは困難だと思われる。